

# 「ふくすいき ~福水企~」通信

平成30年11月号



企業団キャラクター  
ビュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課  
福岡市南区清水四丁目 3-1  
TEL 092-552-1731(代)

## ■ 企業団・構成団体の動き

### ● 全国水道企業団協議会第 49 回企業長・事務局長経営会議〔10/4 (木)・5 (金) 福岡市アクロス福岡外〕

全国の水道企業団の企業長・事務局長が出席する経営会議が10月4日と5日に開催され、今年度は九州地区が担当のため、当企業団が開催地事務局を務めました。

初日は福岡市のアクロス福岡を会場に、「広域連携及び広域化に係る取組状況等について」などの6項目の懇談事項が協議されました。協議終了後は、自衛隊福岡地方協力本部 本部長の藤田 英俊 氏により「陸海空自衛隊と水~災害派遣及び国際活動を通じた取組~」の演題で講演がありました。2日目は、当企業団の海水淡水化センター、海外からのクルーズ客でにぎわう太宰府天満宮を視察しました。

<総務課 志藤>



会議の様子



講演の様子



海水淡水化センターの視察

### ● 牛頸浄水場コスモス花見会と施設見学会【開催しました】〔10/19 (金)・20 (土) 牛頸浄水場〕

当企業団牛頸浄水場では、地域の皆さまを対象にコスモス花見会と浄水場の施設見学会を毎年開催しており今年で15回目となりました。

19日はあいにくの雨空でしたが、20日は天候に恵まれ、2日間で約450名もの方々に来場していただきました。

今年のコスモスは、夏の猛暑や台風の影響で開花が進まず、例年より背丈が低く数は少なめでしたが、来場者の方からは「毎年来ています。今年も綺麗ですね。」「毎年楽しみにしています。」といったお言葉をいただきました。



コスモス畑の様子

今後も、地域の皆さまの良き思い出づくりの一助となれるよう努めてまいります。

<牛頸浄水場 馬場>

●日本水道協会平成 30 年度全国会議（第 93 回総会・水道研究発表会）【参加しました】

〔10/24（水）～26（金） 福岡サンパレスホテル外〕

10月24日から3日間にわたり、日本水道協会全国会議が福岡市の「福岡サンパレスホテル&ホール、福岡国際会議場」で開催され、全国から多くの水道関係者が参加し、水道が抱える課題解決に向けた議論を展開するとともに、活発な情報交換が行われました。

当企業団からは諫山企業長ほか職員8名が参加しました。

総会では、会員から提出された問題の討議及び水道事業に功績があった方々や長年水道事業に携わった方々への表彰があり、多くの方が受賞されました。

研究発表会では、当企業団から、水質センター白水係員が「浄水ヒ素に着目した高塩基度 PAC の適正注入」をテーマに発表しました。

そのほか、事務、計画、水源・取水、浄水、導・送・配水、給水装置、機械・電気・計装、水質、リスク管理・災害対策、英語の全10部門で465編の発表があり、日々の業務や研究の成果など産官学による最新の知見が披露されました。どの発表も興味深い内容のものばかりで、当企業団の参加者は、浄水や水源・取水、水質部門など、日々の業務に関連のあるものを中心に聴講しました。なお、会場には各支部の展示ブースが設けられており、福岡県支部のブースでは、県内水道啓発PRビデオの一つとして海水淡水化センターのビデオ上映や同センターのパンレットの配布が行われました。

さらに「マリンメッセ福岡」で水道展も同時開催されており、各企業(111社)の最新技術紹介ブースでは多くの新技術に触れることができました。今後、水道業務に関わる中で、新技術の採用も検討していきたいと感じました。

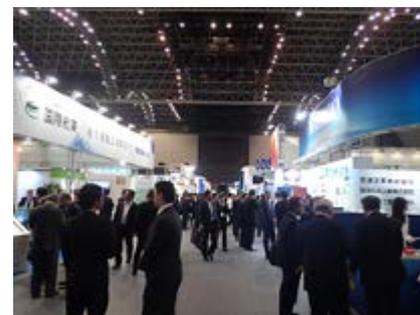
＜水質センター 川井＞



総会の様子



研究発表中の白水係員



水道展の様子

【発表者より】

＜題目＞

浄水ヒ素に着目した高塩基度 PAC の適正注入

＜概要＞

牛頸浄水場では、高塩基度 PAC の導入以降、浄水からヒ素が定量下限値 0.001mg/L（※国が定めた水質基準 0.01mg/L の 1/10）をわずかに超えて検出されることが数回あったため、高塩基度 PAC の注入条件について検討した。

実機検討で、凝集 pH を下げることでヒ素の除去効果は向上したが、原水の低濁度期には、ヒ素の除去に対して PAC 注入率が不足傾向であったので、原水の濁度及びヒ素の濃度に応じた3パターンの注入曲線を作成し、最低注入率を設定した。その際の PAC 使用量概算は実績の約98%であった。これにより安定したヒ素除去効果を確保しつつ、高塩基度 PAC の使用量も抑制できるものと考えている。

＜発表を終えて＞

会場に立ち見が出る中での発表となり緊張しましたが、多くの人に聴講してもらうことができ、よい経験になりました。水道をご利用の皆様へ安全・安心な水を供給できるよう、今後も調査・研究を継続することが大事だと感じました。

＜水質センター 白水＞

●西日本都市監査事務研修会【開催されました】〔10/25（木）・26（金）山口県<sup>しゅうなん</sup>周南市〕

第66回西日本都市監査事務研修会が開催され、当企業団の<sup>うちこし もとやす</sup>打越 基安 代表監査委員（福岡市議会議員）及び監査事務局職員が参加しました。

初日は、開会行事や同研修会の決算及び予算案等の報告の後、岡山県<sup>あかいは</sup>赤磐 市などから提案された5件の研究課題に対して、総務省行政課から解説がありました。

また、翌日には、周南市美術博物館学芸課長より「ふるさとからみた児玉源太郎～明治維新を託された男」についての講演や総務省行政課監査制度専門官による「地方自治法改正に伴う内部統制体制の整備・運用及び監査制度の充実強化」の講義が行われました。 <総務部 御幡>

●福岡地区水道企業団議会議員・監査委員合同行政視察〔10/30（火）・31（水）青森県津軽ダム外〕

企業団議会議員（<sup>まつの たかし</sup>松野 隆 議長以下14人）及び監査委員（<sup>うちこし もとやす</sup>打越 基安 代表監査委員以下2人）合同で、津軽ダムの視察や八戸圏域水道企業団の事業運営・施設の現地調査を実施しました。

津軽ダムでは、総貯水容量約1億4千万 $m^3$ と五ヶ山ダムの約3倍の容量があるダムを視察しました。

八戸圏域水道企業団は、昭和50年に厚生省が実施した広域水道のモデル地域に指定され、昭和61年4月1日、11市町村による末端給水型広域水道事業としてスタートしました。

次なるステップとして、平成20年1月9日に八戸圏域水道企業団と青森県南、岩手県北各市町村あわせて22の水道事業体により、北奥羽地区水道事業協議会が設立され、更なる連携に向けて先進的な取り組みを行っています。今回の合同行政視察では、この取り組みについて調査を行い、あわせて白山浄水場（急速ろ過方式）の施設を見学しました。

今後、当企業団の事業運営にいかしてまいります。

<総務部 御幡>



八戸圏域水道企業団での概要説明（松野議長挨拶）



白山浄水場の施設見学



八戸圏域水道企業団 玄関前

●平成 30 年度水質研修会～東<sup>ひがしくま</sup>隈 浄水場（春日那珂川水道企業団）見学会～【開催しました】  
〔11/1（木）東隈浄水場〕

構成団体の実務担当者の皆さんに水質について理解を深めていただくための研修会を開催し、11 団体から 26 名の方に参加いただきました。

今年度の研修会は、まず「浄水処理～施設見学への導入～」と題して、急速ろ過、緩速ろ過、膜ろ過の処理方法とその特色について説明を行い、次に「最近の相談事例について」で、次亜塩素酸に関する実際にあった相談事例について紹介しました。

その後、平成 30 年 3 月に完成した最新の膜ろ過設備を有する東隈浄水場の見学会を行いました。同浄水場については、受講者の関心も高く、見学中は質問が飛び交っていました。

受講者の方からは「相談事例が参考になった。他の事例も聞いてみたいです。」「最新の膜ろ過設備を見学できてよかった。」などの感想をいただきました。

快く見学会を引き受けてくださいました春日那珂川水道企業団の皆さん、参加していただいた皆さん、ありがとうございました。 <水質センター 若月>



座学の様子



施設見学の様子

## ■ 水源地域との交流事業

### 実施レポート

#### ● 椿ヶ鼻水源の森づくり〔10/13(土) 大分県日田市前津江町〕

この事業は、福岡都市圏の住民が、大山ダム見学、枝打ちなどの森林保全体験を通し、森林の役割や「自然」・「水」の大切さを学ぶことを目的として、椿ヶ鼻水源の森づくり実行委員会（一般社団法人前津江町産業活性化協会、日田市前津江振興局、福岡都市圏広域行政事業組合、当企業団で組織）により、毎年開催されています。

今回は、福岡都市圏の高校生など26人、地元日田市の高校生など15人が参加しました。

最初に大山ダムで開会式を行ったあと、ダムの管理職員からダムの概要や役割などについての説明を受け、堤体や内部の監査廊などを見学しました。

次に、スノーピーク奥日田キャンプフィールド（椿ヶ鼻ハイランドパーク）で、地元の指導員の指導により、参加者全員でヒノキの枝打ち、玉切りなど、水源を守る森林保全活動を行いました。

昼食・交流会ではバーベキューを食べながら参加者間の交流を深めました。

参加者の皆さんは、ダム見学や間伐、枝打ちなどの森林保全活動を通して、水や森の大切さを実感できたことと思います。

<総務課 田子森>



ダム堤体の階段を降りる



ダム監査廊の見学



枝打ち、玉切り等の作業



昼食・交流会の様子



まき割り体験

#### ● 流域連携基金事業「筑後川のめぐみフェスティバル」〔10/27(土)・28(日) 福岡市役所ふれあい広場〕

筑後川への感謝の気持ちを表し、福岡都市圏住民と筑後川流域住民との交流を深める「筑後川のめぐみフェスティバル」が福岡都市圏広域行政事業組合の主催（当企業団共催）で、「<sup>いんすいしげん</sup>飲水思源」<sup>(注)</sup>をテーマに二日間にわたり開催され、約16,000人の来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーでは、<sup>きざかりあつひと</sup>貞刈厚仁福岡市副市長の主催者あいさつや<sup>いのうえすみかず</sup>井上澄和春日市長の福岡都市圏議会議長のあいさつの後、当企業団企業長や筑後川流域の観光大使など登壇者全員によるバルーンリリースが行われました。



会場の福岡市役所ふれあい広場

会場では、筑後川流域から40店以上が出店したグルメ・物産品販売をはじめ、筑後川流域の郷土芸能の「和太鼓」、福岡市立の4高校による演奏、ラジオの公開放送、S E A M Oのトークや F R E A Kのトーク&ライブなどのステージイベント、クイズラリーなどがありました。

当企業団が担当した利き水コーナー（海水淡水化水・水道水・ミネラルウォーターの3種類の水の飲み比べ）には、1,250人の参加があり、正答率は26%でした。全問正解で思わずガッツポーズされる方がいる一方、違いが分からずに何杯も飲まれる方もいました。

来場者の皆さまには、フェスティバルを通して「水」について考え、筑後川のめぐみを感じていただける良い機会になったことと思います。

また、利き水コーナーの運営にあたり、ご協力をいただいた、春日市、篠栗町、福津市、糸島市の職員の皆さまには、厚くお礼申し上げます。

＜総務課 田子森＞

（注）「飲水思源」：「水を飲むときには、水のもとになる水源のことを考える」という意味



主催者あいさつ



オープニングのバレーンリリース



多くの来場者で賑わう会場



利き水コーナーの様子



ラジオの公開録音



ステージを楽しむ来場者

### ●第33回 筑後川・矢部川河川美化「ノーポイ」運動〔10/28（日）久留米市「筑後川河川敷」〕

河川環境の整備・保持や河川美化意識の高揚と河川愛護思想の啓発を目的とする清掃活動が、国土交通省筑後川河川事務所の主催により、筑後川、矢部川で開催されました。

会場の一つである筑後川河川敷では、地元住民の皆さんや自治体職員のほか、福岡都市圏の水道関係職員24名、企業団職員9名が参加し、総勢約4,100名が堤防や河川敷に投棄されたゴミの回収を行いました。

この活動は、ゴミ投棄防止の啓発と河川や海的环境保全につながっていると思います。

＜総務課 田子森＞



開会式



ゴミ回収作業



広い河川敷でゴミ回収

## ●弥生の都「吉野ヶ里」たんけん隊“秋”〔11/3（土）那珂川市，佐賀県吉野ヶ里町〕

水源地の大切さを理解し，水源地地域の振興及び活性化を図ることを目的として，弥生の都吉野ヶ里交流事業実行委員会（佐賀県吉野ヶ里町，福岡市水道局，企業団で構成）の主催により，那珂川市に建設中の五ヶ山ダムの見学や，佐賀県吉野ヶ里町の歴史・文化とふれあう交流事業を開催し，福岡市在住の小学生とその保護者 16 組 36 名が参加されました。

試験湛水中の五ヶ山ダムでは，福岡市水道局の職員による説明を受け，ダム堤体から見学しました。

吉野ヶ里町では，さざんか自生北限地の散策のあと，「さとやま交流館」で地元の郷土史家から吉野ヶ里町の歴史や水の大切さについての講話がありました。

イノシシの焼肉など地元の食材を使った昼食の後は，木の実を使った工作を体験しました。また，帰りには，吉野ヶ里町の温泉施設「<sup>さざんか</sup>山茶花の湯」に立ち寄り，入浴や買い物を楽しまれました。

参加者の皆さんは，水の大切さを学ぶとともに，自然豊かな吉野ヶ里町での一日を満喫されたことと思います。

＜総務課 田子森＞



五ヶ山ダム（試験湛水中）



五ヶ山ダムの見学



さざんか自生北限地の散策



吉野ヶ里町の歴史等の講話



木の実を使った工作



参加者全員で記念撮影

## 11月、12月の予定【開催されます】

### ●第18回水をつなぐ流域交流 in 下戸河内しちとごうち〔11/18（日）朝倉市江川〕

朝倉市江川地区において、福岡市の住民の皆さんが、水の大切さや水を守っている地域について理解を深めることを目的として、小石原川ダム・江川残存地区下戸河内ダム対策協議会の主催により植樹・交流会が開催されます。

当日は、植樹作業のほか、ミニ運動会や餅つき、野菜の収穫体験などを通して、地元の皆さんと交流を図ります。

当企業団の職員も参加します。 <総務課 田子森>

日 程 平成30年11月18日（日）

開催場所 朝倉市江川下戸河内

※参加者の募集は終了しました。



ミニ運動会（玉入れ）の様子

### ●小石原川・佐田川「ノーポイ」運動〔11/19（月）朝倉市佐田〕

この運動は、河川愛護や水産資源の保護を目的に、独立行政法人水資源機構と甘木漁業協同組合の主催で毎年開催されています。

当企業団は、各構成団体、福岡都市圏広域行政事業組合の職員の皆さんとともに、佐田川の寺内ダム貯水池周辺の清掃活動に参加します。

参加される各構成団体の皆さん、当日の作業をよろしくをお願いします。 <総務課 田子森>

日 時 平成30年11月19日（月）

9：00～11：30（予定）

開催場所 佐田川（寺内ダム貯水池周辺）、小石原川（江川ダム貯水池周辺）



回収ゴミ（昨年）

### ●市民参加の森づくり（植樹）〔11/25（日）大分県日田市〕

筑後川の水源地域・流域である大分県日田市は、山々の緑と清流の里「水郷ひた」として知られています。

その日田市では、森づくりを通して森林の有する公益的機能を守り育てるとともに上下流域住民の交流親睦を深めることを目的として、植樹が毎年開催されています。

福岡都市圏は使用する水の約3分の1を筑後川の水に頼っています。水の大切さを学ぶとともに筑後川及びその流域への感謝の気持ちを込めて、福岡都市圏広域行政事業組合が募集した都市圏の住民が参加されます。

当企業団及び各構成団体の職員も植樹作業・交流会に参加します。

参加される各構成団体の皆さん、当日の作業をよろしくをお願いします。

<総務課 田子森>

日 時 平成30年11月25日（日）10：00～13：00（予定）

開催場所 大分県日田市友田（萩尾市有林）



植樹の様子（昨年）

## ■構成団体・水源地域の主なイベント 【お出かけください】

### 11月, 12月の予定

#### ●柳坂ハゼ祭り〔11/17(土)～12/2(日) 久留米市山本町豊田 柳坂曾根の櫨(はぜ)並木周辺〕

(公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会から情報提供いただきました。)

柳坂曾根のハゼは、久留米藩が寛保2年(1742年)に灯明用の蠟の原料として植樹したもので、柳坂曾根の櫨並木には「伊吉ハゼ」を含め約250本が植えられています。

老木のハゼは高さ5～6m、幹周り2m程あるものもあり、約1.1km続く並木道は、県の天然記念物に指定され、新・日本街路樹100景にも選ばれています。

期間中、沿道には野菜・果物など地元の特産物を販売する店で賑わいます。

また、11月17日、18日、23日、24日、25日の10:00～16:00には、並木道が歩行者天国となります。

期 間 平成30年11月17日(土)～12月2日(日)

開 催 場 所 柳坂曾根の櫨並木周辺(久留米市山本町豊田)

駐 車 場 くるめ緑花センター大駐車場 約100台

その他臨時駐車場 約200台

問い合わせ先 久留米市観光案内所 TEL 0942-33-4422



燃えるような紅葉が美しい櫨並木

#### ●第38回中津江村ふるさと祭り〔11/18(日) 大分県日田市中津江ホール〕

(日田市から情報提供いただきました。)

地域の農産物が集まることで好評の祭りです。

農林産物品評会をはじめ吉本お笑い&パフォーマンズショー、福引抽選会の他、屋台村などがあります。

日 時 平成30年11月18日(日) 9:00～14:00

開 催 場 所 中津江ホール(日田市中津江村栃野4344-1)

問い合わせ先 中津江村ふるさとまつり実行委員会

TEL 0973-54-3111



#### ●秋の民陶むら祭 (11/23(祝)～25(日) 東峰村)

(朝倉郡東峰村から情報提供いただきました。 ※台風のため10月6日～8日の日程を変更)

2018年秋の民陶むら祭が開催されます。小石原焼と高取焼の大陶器市。小石原地区を中心に点在する約50の窯元では、期間中通常価格の2割引で販売され、祭りに合わせて窯出しされた陶器を求めて、全国から多くの陶器ファンが訪れます。

日 程 平成30年11月23日(祝)～25日(日)

メ イン 会 場 小石原焼伝統産業会館(朝倉郡東峰村大字小石原730-9)

問い合わせ先 民陶むら祭運営委員会 TEL 0946-74-2121

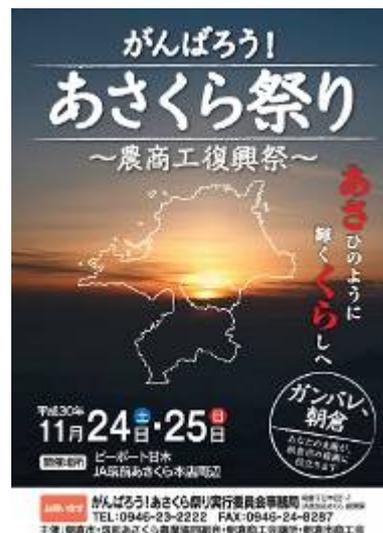
●「がんばろう！あさくら祭り～農商工復興祭～」 【11/24（土）・25（日） 朝倉市 ピー  
ポート甘木・JA 筑前あさくら本店周辺】

（朝倉市から情報提供いただきました。）

平成 29 年 7 月の九州北部豪雨により大きな被害を受けた朝倉市では、今回「復興」をテーマに、災害に負けない元気なパフォーマンスや防災イベント、地元農産物の販売など、朝倉の元気を発信します。

当企業団からは、防災イベントに災害備蓄用のアルミ缶ボトル水を提供します。

日 程 平成 30 年 11 月 24 日（土）・25 日（日）  
開 催 場 所 ピーポート甘木・JA 筑前あさくら本店周辺  
（朝倉市甘木）  
問い合わせ先 がんばろう！あさくら祭り実行員会事務局  
TEL 0946-23-2222



●おしろい祭り【12/2（日）朝倉市 大山祇神社】  
おおよまづみ

（朝倉市から情報提供いただきました）

古くからの言い伝えでは、大山祇神社は「山の神」と呼ばれ、一般的に山の神は「女の神様」を指し示しますが、その「女の神様」がお化粧をすることを「おしろいをぬる」と言われています。

このおしろいは、新米を粉にして水で溶いたもので“しとぎ”と呼ばれていますが、“しとぎ”は、「餅の原型」とも言われ、古くから神前のお供えものとしてハレの日に欠かせない存在です。

朝倉市杷木大山の大山祇神社で行われる 300 年以上続く全国的にも珍しい「おしろい祭り」は、この“しとぎ”を顔に塗るもので、その昔、農家の人々が氏子の繁栄と新穀の豊作を神に報告、感謝し、来年の五穀豊穡を祈願する行事で、全国でも類のない奇習です。

毎年 12 月 2 日に行われ、当日は午後 2 時頃から宮座が始まります。宮座の膳が準備され、参拝者全員に甘酒がふるまわれます。宮司のお祓い、祝詞が奏上された後、氏子全員が宮座の膳につき、お神酒がまわり始めると、座元と言われる人達が“しとぎ”を持ち出して宮司の顔から塗り始め、参拝者全員におしろいが塗られていきます。このおしろいの付き具合で来年の「作柄」が占われます。

このおしろいは家に帰るまで落としてはならず、帰ってから顔を洗った水を家畜に飲ませると丈夫に育つそうです。

宮座の膳を持ち帰るための「藁つと」<sup>わら</sup>が用意されており、お酒で火照った顔におしろいが塗られた顔のまま、「藁つと」を肩に担いで家路につく姿は素朴な風景です。

日 時 平成 30 年 12 月 2 日（日） 14：00～  
開 催 場 所 大山祇神社（朝倉市杷木大山） ※ 駐車場なし  
問い合わせ先 道の駅「原鶴」インフォメーションセンター TEL 0946-62-0730



## ■ 知ってる！？ 筑後川のはなし

このコーナーでは、筑後川について、より知識を深め、親しんでいただくために、筑後川流域の観光、イベント、特産物、史跡などの情報を掲載しています。

今回は、10月号で紹介した東峰村の「竹地区の棚田」近くにある「岩屋神社」を紹介します。

岩屋神社は、中国・北魏<sup>ほくゑい</sup>からの渡来僧によって西暦532年に開かれ、547年に空から降ってきたと伝えられる宝珠石をご神体とし、神仏が降臨する神聖な場所として修験者<sup>しゆげんじや</sup>の修行場でした。

現在の岩屋神社本殿は、茅・杉皮重ね葺の入母屋<sup>いりもぢや</sup>造りで、1698年(元禄11年)に権現岩<sup>ごんげんいわ</sup>と呼ばれる大岩のくぼみを利用して造られ、背面と左側面に屋根と壁が造られていません。

岩屋神社本殿のさらに山の上には、1686年(貞享<sup>じやうきやう</sup>3年)に険しい岩場のくぼみを巧みに利用して懸造り<sup>かけ</sup>で境内社熊野神社本殿が建てられており、どちらも国重要文化財に指定されています。

境内には、樹齢600～700年といわれる高さ約36m・幹回り約6mの大イチョウ(県指定天然記念物)や江戸時代末に山伏によって彫られた「馬の首根岩<sup>こうねいわ</sup>」と呼ばれる1枚岩の洞門などがあります。

紅葉の季節に訪ねてみませんか。

<総務部 山北>



大岩の窪みに建てられた岩屋神社本殿



懸造りの熊野神社本殿



岩屋神社本殿の右側面



※入母屋造り：屋根の形式（右図参照）

※懸造り：崖や池などの上に建物を長い柱と貫で固定し、床下を支える建築方法

## 水 源 情 報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、  
【水源情報】が載っています  
ので、見てね！！



- ・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



## 編 集 後 記

若者向けに AA（アスキーアート…文字や記号の組み合わせで作成したイラスト）を使って SNS で発信してみたら面白いかな、と思って考えてみました。

福岡都市圏の水道水のなんと 1/3 は筑後川の水 Σ(・ω・ノ)！

筑後川の恵みに感謝だお (^ω^)

今日の交流事業は盛り上がりました \('▽`)/人('▽`)/ カマ

ふくおかの水をどうぞ ('・ω・`)\_日



・・・ないな。炎上しそうなので没。

まあ炎上を恐れていたら、面白い広報なんてできないとは思うので  
すけどね。

<月天>

### ★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお祈いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください  
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を  
お待ちしております！！



## 牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

### ○ 牛頸浄水場（九州最大級の浄水場）

#### ○所在地

〒816-0971 大野城市牛頸一丁目1番1号

#### ○見学日

・月曜日から金曜日（祝日，年末年始期間を除きます）

○TEL 092-596-5021 FAX 092-595-3065



牛頸浄水場急速ろ過池

### ○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

#### ○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

#### ○見学日

・月曜日から金曜日

・毎月第3日曜日

・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日  
（祝日，年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

### ○ 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。

見学を希望される場合は，7日前までに電話で予約のうえ，書面による申込み（FAX または郵送）をお願いします。

### ※ 施設見学の予約状況の確認，申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

福岡地区水道企業団では，企業団ホームページや SNS（Facebook ページ，Twitter）を通じて，企業団が行う事業や取り組み，水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事や SNS で発信した情報について，面白い，役に立ったなどと思ってくださった方は，ぜひ，SNS の機能（リツイートやシェアなど）を使って，多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Facebook ページ



福岡地区水道企業団

